

令和3年度 後期
「甲斐市商工会地域経済動向調査」

報告書

令和4年6月30日

株式会社サン・グローバル総合研究所
中小企業診断士 藤田 泰一

1. 実施方法

実施日：令和4年3月25日～同年4月28日

実施方法：①甲斐市商工会総代宛にアンケート票を郵送方式で実施

②回収方法は郵送及び商工会職員への手渡し、FAXで回収

配布票：145票

回収票：88票（回収率60.9%）

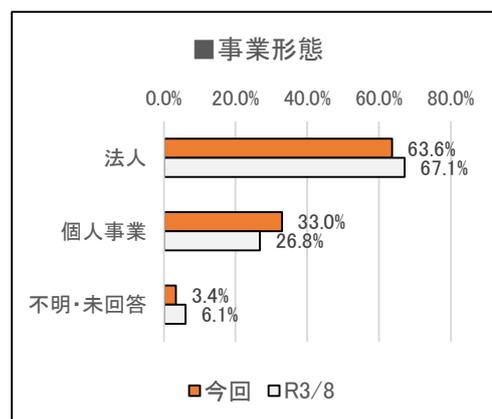
参考：前回（「令和3年度前期甲斐市商工会経済動向調査」）は令和3年8月実施で、回答票は82票。

2. 回答者属性

1. 事業形態

「法人」が全体の63.6%と2/3弱を占め、「個人事業」は33.0%で1/3であった。

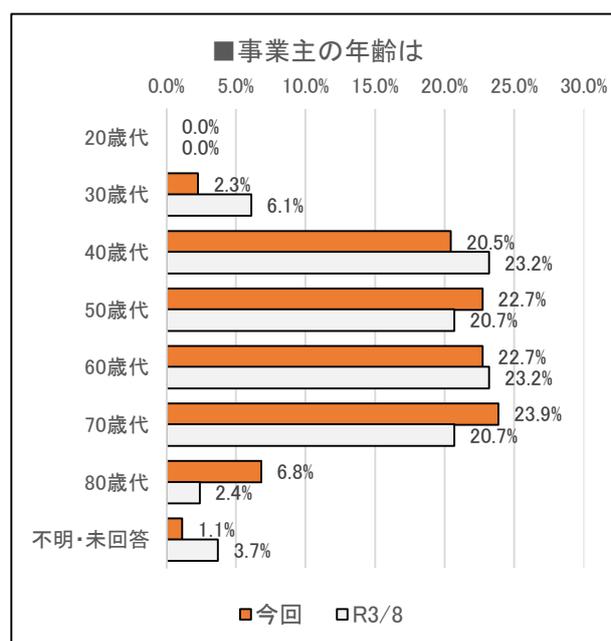
なお、前回調査との比較では「法人」が多少減少し、「個人事業」は反対に増加している。



2. 事業主の年齢

回答者年齢で最も多かったのは「70歳代」の23.9%で、これに次いで「50歳代」と「60歳代」が各22.7%、「40歳代」の20.5%の順であった。

また、前回との比較では「80歳代」の4.4ポイント増のほか、「70歳代」、「50歳代」が増加し、「30歳代」、「40歳代」、「60歳代」は減少している。

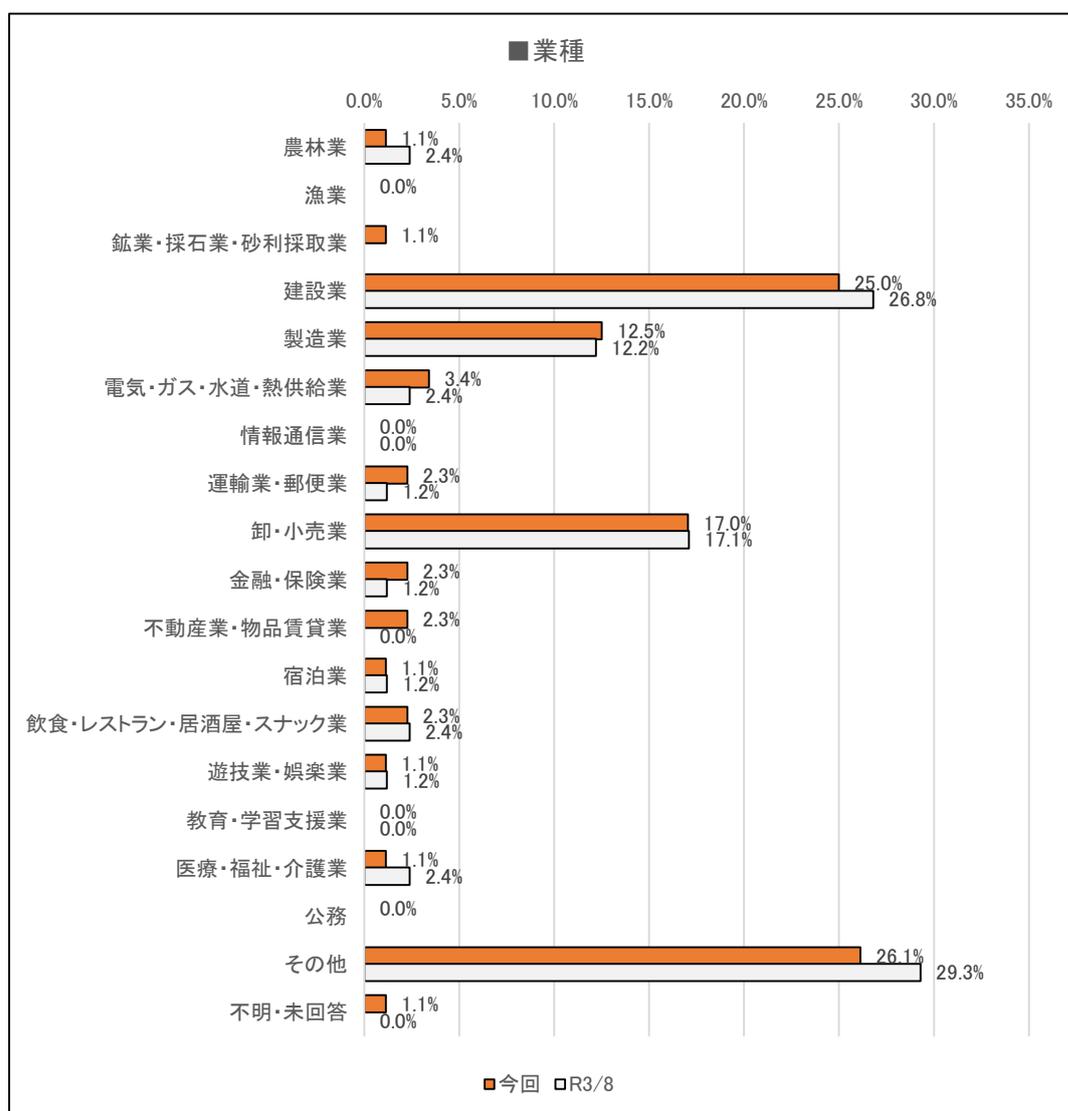


3. 業種（主たる業種を1つ選択）

主たる業種としては、その他を除くと「建設業」が25.0%と全体の1/4を占めて最も多く、次いで「卸小売業」17.0%、「製造業」12.5%の順となっている。

なお、「その他」業種には、自動車販売・整備、理容、産業廃棄物、清掃、写真業その他サービス業などであった。

また、前回調査との比較では、「建設業」、「製造業」、「卸・小売業」など上位順位に変化はなかったが、比率としては「建設業」が1.8ポイント、「卸・小売業」も0.1ポイント減少し、製造業は0.3ポイント増加した。



4. 従業員数

事業主と常勤している役員を除いた従業員数（パート・アルバイトを含む）は、「1人」が全体の22.7%と最も多く、次いで「2人」（15.9%）、「0人」と「3人」が各8.0%などの順となっている。

ちなみに、3人以下が54.6%で前回調査の同合計41.5%より13.1ポイント増加している。

従業員数	件数	今回	R3/8
0人	7	8.0%	7.3%
1人	20	22.7%	19.5%
2人	14	15.9%	11.0%
3人	7	8.0%	3.7%
4人	6	6.8%	13.4%
5人	5	5.7%	9.8%
6～7人	5	5.7%	3.7%
8～9人	4	4.5%	6.1%
10～15人	5	5.7%	6.1%
16～20人	1	1.1%	0.0%
21～30人	1	1.1%	4.9%
31～40人	1	1.1%	0.0%
41～50人	2	2.3%	1.2%
51～100人	2	2.3%	2.4%
101人以上	0	0.0%	0.0%
未回答	8	9.1%	1.1%
計	88	100.0%	100.0%

5. 決算月（個人事業は12月のみ）

決算月については「3月」と「6月」が各14.3%で最も多く、以下5月（12.5%）、4月と12月の各10.7%、7月（7.1%）の順となっている。

ちなみに、個人事業の事業所数は全体の33%のため12月の10.7%は数値面での相違が見られる結果となった。

また、前期決算年をみると令和3年が83.9%で大半を占めているが、令和4年（調査実施が3月～4月ということで1月決算か？）も12.5%見られた。

決算月	件数	今回	R3/8
1月	0	0.0%	0.0%
2月	2	3.6%	6.1%
3月	8	14.3%	8.5%
4月	6	10.7%	6.1%
5月	7	12.5%	9.8%
6月	8	14.3%	12.2%
7月	4	7.1%	6.1%
8月	2	3.6%	2.4%
9月	5	8.9%	3.7%
10月	2	3.6%	3.7%
11月	3	5.4%	2.4%
12月	6	10.7%	18.3%
未回答	3	5.4%	20.7%
計	56	100.0%	100.0%

前期決算年	件数	今回
令和2年	1	1.8%
令和3年	47	83.9%
令和4年	7	12.5%
未回答	1	1.8%
計	56	100.0%

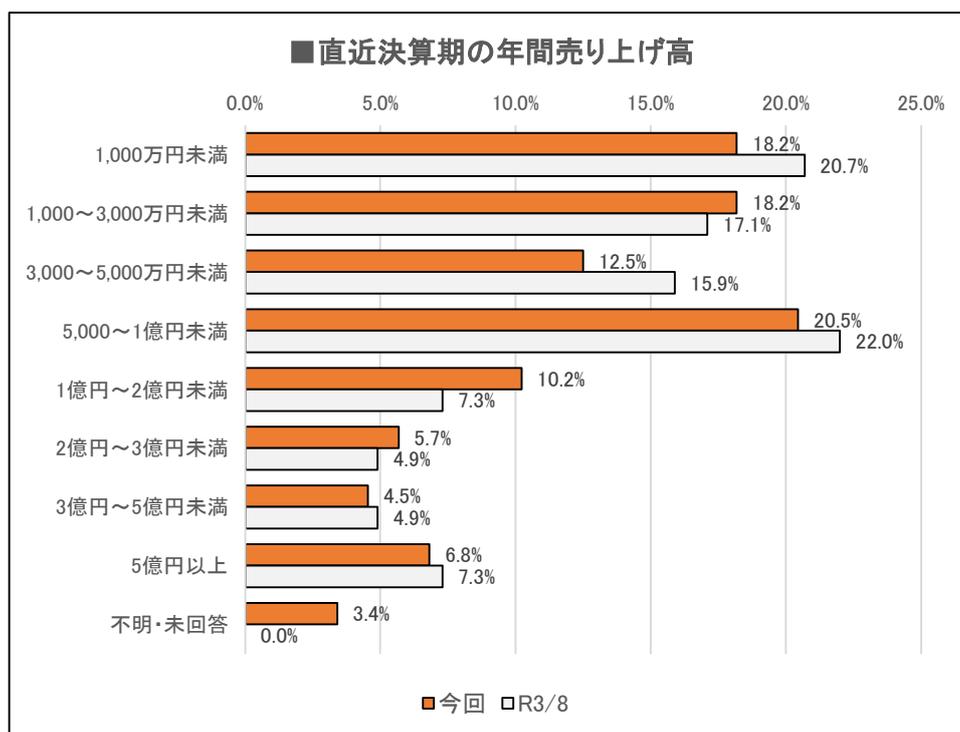
3. 景況調査結果

1. 昨年（前期）の売上高実績

昨年度の売上高実績としては、「5,000～1億円未満」が全体の20.5%を占めて最も多く、次いで「1,000万円未満」と「1,000～3,000万円未満」がそれぞれ18.2%であった。

以下、「3,000～5,000万円未満」（12.5%）、「1億円～2億円未満」（10.2%）、「5億以上」（6.8%）の順となっている。

前回調査と比較では、増加しているクラスとして「1,000～3,000万円未満」（+1.1ポイント）、「1億円～2億円未満」（+2.9ポイント）、「2億円～3億円未満」（+0.8ポイント）などで、反対に減少しているクラスは「1,000万円未満」（-2.5ポイント）、「3,000～5,000万円未満」（-3.4ポイント）、「5,000～1億円未満」（-1.5ポイント）、「5億円以上」（-0.5ポイント）などであった。

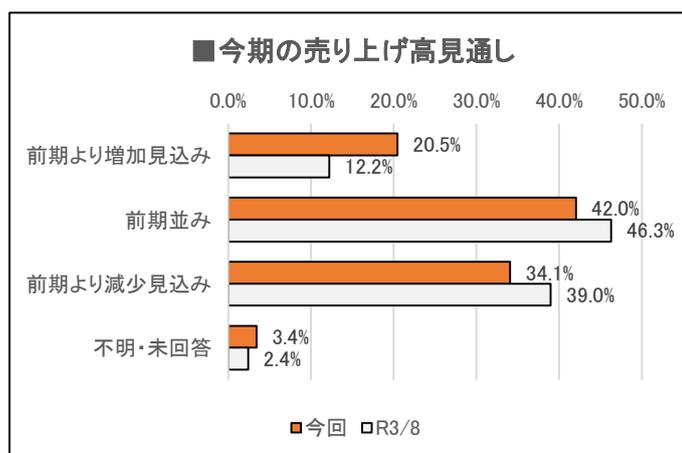


2-1. 今期の売上高見込み

今期の売上高見通しについては、「前期並み」が42.0%とトップであり、次いで「減少見込み」が34.1%であり、「増加見込み」は20.5%と約5事業所に1事業所の割合であった。

これを令和3年8月の前回調査と比較すると、「前期並み」と「減少見込み」が低下し、「増加見込み」が8.3ポイント上昇するなど、新型コロナウイルス感染症のため大きく

落ち込んだ前回よりは多少は売上高が好転している様子が見られた。



2-2. 昨年度（前期）と比較して売上高増加見込みの程度

増加見込みと回答した 18 事業所のうち増加見込みの程度については「0～10%程度」が 8 事業所で全体の 44.4%を占めて最も多く、以下「51%以上」も 3 事業所（16.7%）あった。

ちなみに、前回調査ではやはり「0～10%程度」と「51%以上」がそれぞれ 36.6%を占めて最多であった。

「前期より増加見込」	件数	今回	R3/8
0～10%	8	44.4%	36.6%
11～20%	2	11.1%	0.0%
21～30%	0	0.0%	17.9%
31～40%	2	11.1%	0.0%
41～50%	1	5.6%	8.9%
51%以上	3	16.7%	36.6%
未回答	2	11.1%	0.0%
計	18	100.0%	100.0%

2-3. 昨年度（前期）と比較して売上高減少見込みの程度

減少見込みと回答した 30 事業所のうち未回答者を除く減少率を見ると、「11～20%」が 9 事業所（30.0%）で最多となっており、次いで「0～10%程度」の 8 事業所（26.7%）、「51%以上」3 事業所（10.0%）などとなっている。

なお、前回調査では、やはり未回答を除くと「0～10%程度」・「11～20%」・「21～30%」・「51%以上」の 4 クラスにおいてそれぞれ 16.7%と同数値で上位であった。

「前期より減少見込み」	件数	今回	R3/8
0～10%	8	26.7%	16.7%
11～20%	9	30.0%	16.7%
21～30%	2	6.7%	16.7%
31～40%	2	6.7%	6.6%
41～50%	0	0.0%	10.1%
51%以上	3	10.0%	16.7%
未回答	6	20.0%	16.7%
計	30	100.0%	100.0%

3. 最近の販売単価・受注単価について

最近の販売・受注単価に関しては、「概ね前期並み」が35.2%と1/3強を占め、次いで「全般的に上がっている」が33.0%で1/3、「一部販売単価・受注単価は上がっている」が26.1%となっており、約60%の事業所において製品や金額の差はあるものの上がっているとの回答が見られた。

最近の販売・受注単価は	件数	今回	R3/8
全般的に上がっている	29	33.0%	29.0%
一部販売・受注単価は上がっている	23	26.1%	23.0%
概ね前期並みである	31	35.2%	31.0%
一部販売・受注単価は下がっている	0	0.0%	0.0%
全般的に下がっている	2	2.3%	2.0%
未回答	3	3.4%	3.0%
計	88	100.0%	100.0%

なお、前回調査においては「全般的に上がっている」(29.0%)、「一部販売単価・受注単価は上がっている」(23.0%)合計は52.0%であった。

4. 最近の仕入れ費用・仕入単価について

仕入れ費用、仕入単価については、「全般的に上がっている」が52.3%と回答者の50%以上を占めた。

最近の仕入れ費用・仕入単価は	件数	今回	R3/8
全般的に上がっている	46	52.3%	34.1%
一部仕入れ製品は上がっている	24	27.3%	30.5%
概ね前期並みである	17	19.3%	31.7%
一部仕入れ製品は下がっている	0	0.0%	0.0%
全般的に下がっている	0	0.0%	2.4%
未回答	1	1.1%	1.2%
計	88	100.0%	100.0%

また「一部仕入製品は上がっている」も27.3%で合計79.6%の事業所において何らかの形で仕入れ費用、仕入単価が上がっていると回答し、逆に「一部仕入製品は下がっている」・「全般的に下がっている」の回答は0件であった。

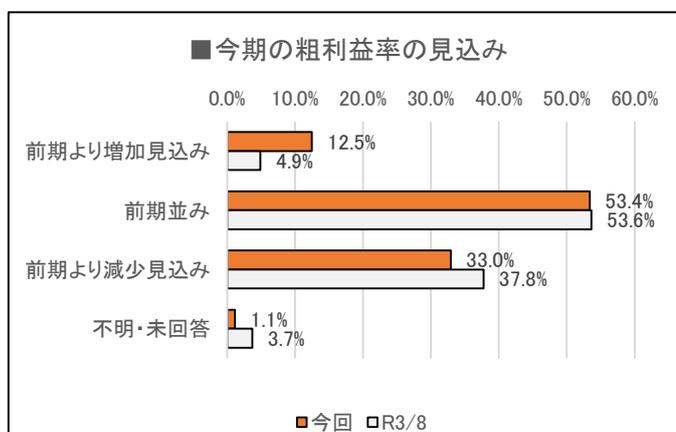
前回調査との比較では、前は「全般的に上がっている」・「一部仕入製品は上がっている」合計は64.6%であり、今回調査において仕入関連が大きく上昇していることが判明した。

5-1. 今期の粗利益率の見込み

(注. 粗利益率とは、売上高から仕入れや製造原価を差し引いたもの)

粗利益率(売上高総利益率)については、「前期並み」が53.4%で半数強となっており、次いで「前期より減少見込み」が33.0%、「前期より増加見込み」12.5%であった。

前回調査との比較では、「前期並み」は概ね横ばいであったが、「増加見込み」が上昇し、「減少見込み」が低下するなど多少は業績が好転している結果がみられた。



5-2. 前期と比較して粗利益率増加見込みの程度

粗利益が増加を見込んでいる 11 事業所のうち 6 事業所が「0～10%程度」で全体の 54.5%と半数以上を占め、「51%以上」も 2 事業所（18.2%）あった。

なお、前回調査ではやはり「0～10%程度」が 60.7%とトップとなっており、「51%以上」は 0 件であった。

「前期より増加見込み」	件数	今回	R3/8
0～10%	6	54.5%	60.7%
11～20%	1	9.1%	0.0%
21～30%	1	9.1%	19.7%
31～40%	0	0.0%	0.0%
41～50%	1	9.1%	19.7%
51%以上	2	18.2%	0.0%
未回答	0	0.0%	0.0%
計	11	100.0%	100.0%

5-3. 前期と比較して粗利益率減少見込みの程度

粗利益の減少見込みは 30 事業所で、未回答の 6 事業を除くと最も多かったのが「11～20%」の 9 事業所で全体の約 1/3 にあたる 30.0%となっている。

次いで「0～10%程度」の 8 事業所（26.7%）、「51%以上」3 事業所（10.0%）の順であった。

なお、前回調査では 21%以上の大幅な粗利益率の落ち込みが合計 50.1 であったが、今回は同合計が 23.4%と半数以上減少した。

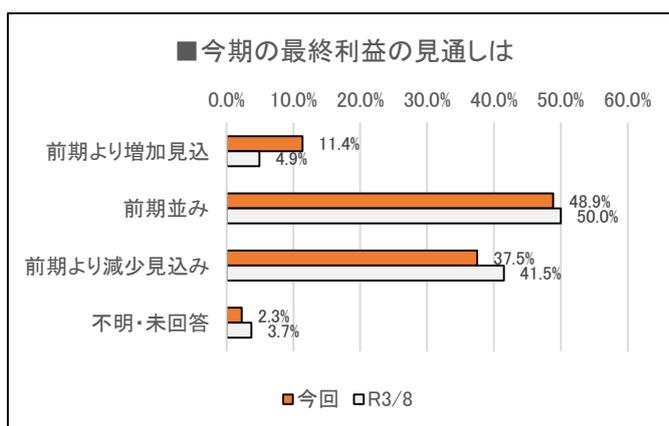
「前期より減少見込み」	件数	今回	R3/8
0～10%	8	26.7%	16.7%
11～20%	9	30.0%	16.7%
21～30%	2	6.7%	16.7%
31～40%	2	6.7%	6.6%
41～50%	0	0.0%	10.1%
51%以上	3	10.0%	16.7%
未回答	6	20.0%	16.7%
計	30	100.0%	100.0%

6-1. 今期の最終利益の見通し

(注. 最終利益とは、法人は経常利益、個人事業主は売上高から原価、経費を差し引いた金額)

今期の最終利益の見通しについては、「前期並み」が 48.9%で半数近くを占めて最も多く、次いで「減少見込み」が 37.5%、「増加見込み」11.4%であった。

なお、前回調査結果との比較では「前期並み」と「減少見込み」が減少して「増加見込み」が上昇した。



6-2. 前期より最終利益増加の見込み程度

前期より増加見通しの10事業所について未回答者を除くと、「0～10%程度」増加が3事業所（30.0%）で、以下「11～20%程度」と「51%以上」が各2事業所（20.0%）であった。

ちなみに前回調査では、「0～10%程度」と「51%以上」増加が各2事業所（33.3%）であった。

「前期より増加見込み」	件数	今回	R3/8
0～10%	3	30.0%	33.3%
11～20%	2	20.0%	0.0%
21～30%	1	10.0%	16.7%
31～40%	0	0.0%	0.0%
41～50%	1	10.0%	0.0%
51%以上	2	20.0%	16.7%
未回答	1	10.0%	33.3%
計	10	100.0%	100.0%

6-3. 前期より最終利益減少の見込み程度

最終利益が前期より減少見込みとの回答は33事業所で、このうち未回答を除くと「0～10%程度」の9事業所が全体の27.3%を占め最も多く、次いで「11～20%程度」が7事業所（21.2%）であった。

なお、前回調査においても「0～10%」の減少が8事業所（22.5%）で最多であった。

「前期より減少見込み」	件数	今回	R3/8
0～10%	9	27.3%	22.5%
11～20%	7	21.2%	19.3%
21～30%	2	6.1%	9.8%
31～40%	1	3.0%	3.2%
41～50%	1	3.0%	6.3%
51%以上	2	6.1%	13.0%
未回答	11	33.3%	25.9%
計	33	100.0%	100.0%

7. 現在の経営の課題や問題点（複数回答）

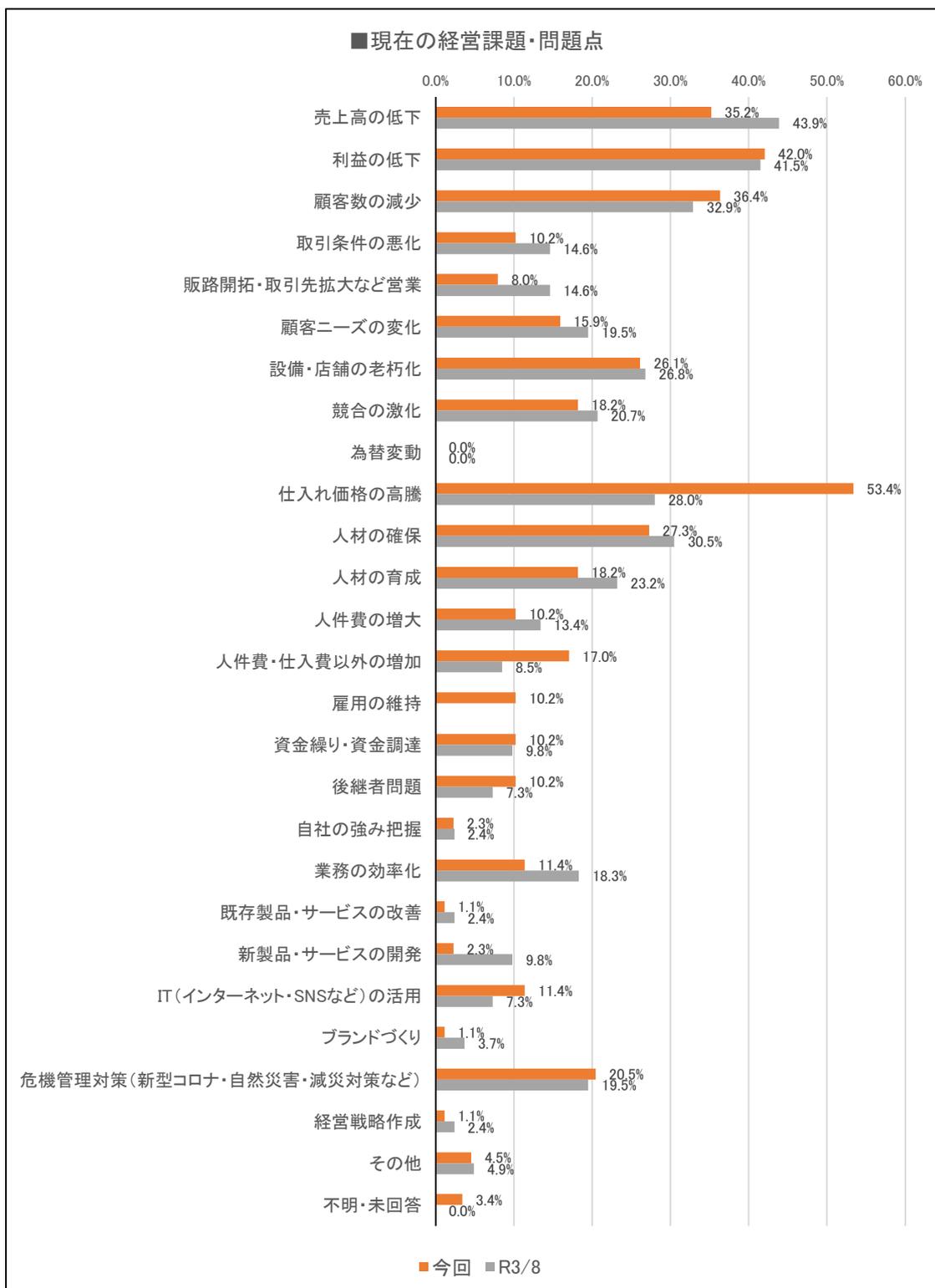
現在の経営上の課題、問題点として最も回答が多かったのが「仕入れ価格の高騰」で前回調査時の28.0%から今回は53.4%と25.4ポイントの大幅増加となった。

これは令和2年からの新型コロナ感染症パンデミックによる世界的な工場生産のストップ及び低下や、原油高、さらに円安や令和4年2月からのロシア・ウクライナ戦争による資源高騰などの影響によるもので、ほぼ全製品にわたって価格が上昇していることが要因である。

このほかで回答が多い順としては、上記仕入高の影響を受けて「利益の低下」が42.0%と半数弱を占め、「顧客数の減少」（36.4%）、「売上高の低下」（35.2%）も1/3以上で、「人材の育成」（27.3%）、「設備・店舗の老朽化」（26.1%）、「危機管理対策」（新型コロナや自然災害、現在対策など）（20.5%）が20%以上と続いている。

これを令和3年8月の前回調査時点と比較すると、「仕入れ価格の高騰」（+25.4ポイント）、「人件費・仕入費以外の増加」（+8.5ポイント増加）、「ITの活用」（+4.1ポイント）、「顧客数の減少」（+3.5ポイント）、「後継者問題」（+2.9ポイント）「利益の低下」（+0.5ポイント）等において増加傾向がみられ、反対に低下した横目は「売上高の低下」（-8.7ポイント）、「新製品・サービスの開発」（-7.5ポイント）、「業務の効率化」（-6.9ポイント）、「人材の育成」（-5.0ポイント）、「顧客

ニーズの変化」(−3.6ポイント)などであった。

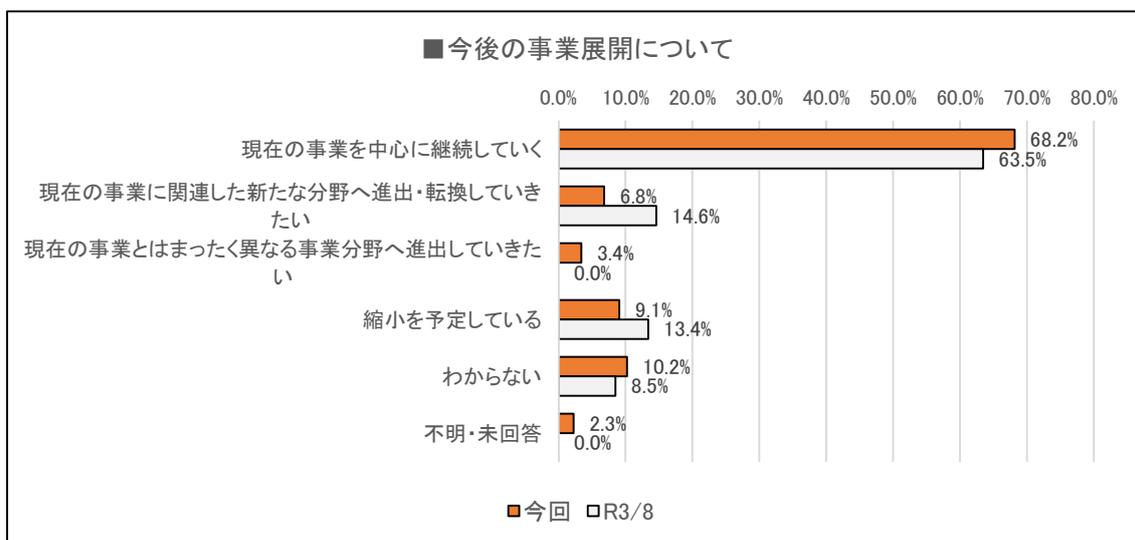


8. 今後の事業展開についてどのように考えているか

今後の事業展開については、「現在の事業を中心に継続していく」が68.2%と70%近くを占めて最も多く、前回調査の同回答率63.5%を4.7ポイント上回った。

このほかでは、「わからない」（前回調査時8.5%）が10.2%と約1割の事業所は今後の展開に不透明感・不安感を持ち、「縮小を予定している」（前回調査時13.4%）も前回よりは低下したものの9.1%あった。

なお、「現在の事業に関連した新たな分野へ進出・転換していきたい」との積極的な事業所は6.8%で前回調査の14.6%より7.8ポイント低下した。



9. その他自由回答

今回のアンケートにおいてその他自由意見としては以下のコメントがあった。

- ・先行き不透明
- ・正常業務、平常営業がなんの差し障りなく出来る様になり何の規制も無く買い物、イベント旅行、スポーツ等が出来る時に今の景気経済で良いのか？
- ・業界内の労務管理がされておらずサービス残業や不当な言及などが横行している。資格保有者を確保したいがイメージが悪くほかの業界に人材が流出してしまう。労働行政が機能してほしい。
- ・貴会にアドバイスをいただきながら事業展開を考えています。
- ・コロナ禍により、二輪車需要が拡大
- ・人がいない、募集しても集まらない、来てもすぐにやめる
- ・個人商店、小売店にとってはどの業種の店も大型店 コンビニ、とは相手にならず、お客も車でまとめて一ヶ所での買い物をする為広い駐車場の有るなんでもアリの所へ行くので昔ながらの地域の小売業店は先がありませんので
- ・前期並みですが前期がコロナの影響で減少していますのでとても厳しい状況です
- ・クリーニング業ですが、洗濯機の向上、洗剤の向上があり、せんいの向上、皆、自宅で洗うようになって来ている。コロナ禍で、リモートも加わり、減少傾向が著しいです。

4. 調査結果のまとめ

1. 回答者属性

- (1) 法人が全体の 63.6%と 2/3 弱を占め、回答者年齢で最も多かったのは 70 歳代 (23.9%) だが、80 歳代も含めると全体の 30.7%で前回より高齢化した。
- (2) 業種としては、前回同様に「建設業」全体の 1/4 を占めてトップ、次いで「卸小売業」、「製造業」の順であった。
- (3) 企業規模では、従業員数 (パート・アルバイトを含む) は 3 人以下が 54.6%で前回調査の同合計 41.5%より 13.1 ポイント増加した。また昨年度の売上高実績としては、5,000 万円未満の事業所が 48.9%と約半数を占め、1 億円未満を合わせると 69.4%で 2/3 以上となっている。

2. 景況調査

- (1) 今期の売上高見通しについては、「前期並み」が 42.0%と最多だが、「増加見込み」も 20.5%と約 5 事業所に 1 事業所の割合であり、前回調査との比較でも「増加見込み」が 8.3 ポイント上昇した。
- (2) 利益見通しは、粗利益率 (売上高総利益率) については「前期並み」53.4%、「前期より減少見込み」33.0%、「前期より増加見込み」12.5%で、最終利益の見通しとしては、「前期並み」が 48.9%、「減少見込み」37.5%、「増加見込み」11.4%であった。
しかし、前回調査結果と比較すると粗利益率、最終利益とも「減少見込み」が減少し「増加見込み」が上昇するなど、2 年前からの新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらもこれに対応して多少は業績が好転している結果がみられた。
- (3) このような中で、仕入れ費用・仕入単価については、「全般的に上がっている」(52.3%)、「一部仕入製品は上がっている」(27.3%)と合計 79.6%の事業所において何らかの形で仕入れ上昇の影響を受けており、これに対して販売単価・受注単価は「全般的に上がっている」(33.0%)、「一部販売単価・受注単価は上がっている」(26.1%)と約 60%の事業所において製品や金額の差はあるものの上昇しているとの回答があったものの、なかなか仕入高騰分を販売・受注へ転嫁するところまではいっていない結果がみられた。
- (4) なお、これを裏付ける内容として現在の経営上の課題、問題点に「仕入れ価格の高騰」が前回調査時の 28.0%から今回は 53.4%と 25.4 ポイントの大幅増加となったが、一方で「利益の低下」が 42.0%と半数弱を占めたほか、「売上高の低下」35.2%も 1/3 以上あったことがあげられる。
- (5) これらの結果を受けて今後の事業展開については、「現在の事業を中心に継続していく」が 68.2%と前回調査より 4.7 ポイント上回ったものの、「わからない」(10.2%)や「縮小を予定している」(9.1%)などの回答が合計約 20%と 5 社に 1 社の割合であるなど、先行き不透明・不安感ともみられる結果となった。

以上

「令和3年度後期甲斐市商工会地域経済動向調査」単純集計結果

事業形態	件数	今回	R3/8
法人	56	63.6%	67.1%
個人事業	29	33.0%	26.8%
未回答	3	3.4%	6.1%
計	88	100.0%	100.0%

事業主の年齢は	件数	今回	R3/8
20歳代	0	0.0%	0.0%
30歳代	2	2.3%	6.1%
40歳代	18	20.5%	23.2%
50歳代	20	22.7%	20.7%
60歳代	20	22.7%	23.2%
70歳代	21	23.9%	20.7%
80歳代	6	6.8%	2.4%
未回答	1	1.1%	3.7%
計	88	100.0%	100.0%

業種	件数	今回	R3/8
農林業	1	1.1%	2.4%
漁業	0	0.0%	
鉱業・採石業・砂利採取業	1	1.1%	
建設業	22	25.0%	26.8%
製造業	11	12.5%	12.2%
電気・ガス・水道・熱供給業	3	3.4%	2.4%
情報通信業	0	0.0%	0.0%
運輸業・郵便業	2	2.3%	1.2%
卸・小売業	15	17.0%	17.1%
金融・保険業	2	2.3%	1.2%
不動産業・物品賃貸業	2	2.3%	0.0%
宿泊業	1	1.1%	1.2%
飲食・レストラン・居酒屋・スナック業	2	2.3%	2.4%
遊技業・娯楽業	1	1.1%	1.2%
教育・学習支援業	0	0.0%	0.0%
医療・福祉・介護業	1	1.1%	2.4%
公務	0	0.0%	
その他	23	26.1%	29.3%
未回答	1	1.1%	0.0%
計	88	100.0%	100.0%

従業員数	件数	今回	R3/8
0人	7	8.0%	7.3%
1人	20	22.7%	19.5%
2人	14	15.9%	11.0%
3人	7	8.0%	3.7%
4人	6	6.8%	13.4%
5人	5	5.7%	9.8%
6～7人	5	5.7%	3.7%
8～9人	4	4.5%	6.1%

10～15 人	5	5.7%	6.1%
16～20 人	1	1.1%	0.0%
21～30 人	1	1.1%	4.9%
31～40 人	1	1.1%	0.0%
41～50 人	2	2.3%	1.2%
51～100 人	2	2.3%	2.4%
101 人以上	0	0.0%	0.0%
未回答	8	9.1%	1.1%
計	88	100.0%	100.0%

前期決算年	件数	今回	R3/8
令和 2 年	1	1.8%	
令和 3 年	47	83.9%	
令和 4 年	7	12.5%	
未回答	1	1.8%	
計	56	100.0%	

決算月	件数	今回	R3/8
1 月	0	0.0%	0.0%
2 月	2	3.6%	6.1%
3 月	8	14.3%	8.5%
4 月	6	10.7%	6.1%
5 月	7	12.5%	9.8%
6 月	8	14.3%	12.2%
7 月	4	7.1%	6.1%
8 月	2	3.6%	2.4%
9 月	5	8.9%	3.7%
10 月	2	3.6%	3.7%
11 月	3	5.4%	2.4%
12 月	6	10.7%	18.3%
未回答	3	5.4%	20.7%
計	56	100.0%	100.0%

直近決算期の年間売上高	件数	今回	R3/8
1,000 万円未満	16	18.2%	20.7%
1,000～3,000 万円未満	16	18.2%	17.1%
3,000～5,000 万円未満	11	12.5%	15.9%
5,000～1 億円未満	18	20.5%	22.0%
1 億円～2 億円未満	9	10.2%	7.3%
2 億円～3 億円未満	5	5.7%	4.9%
3 億円～5 億円未満	4	4.5%	4.9%
5 億円以上	6	6.8%	7.3%
未回答	3	3.4%	0.0%
計	88	100.0%	100.0%

今期の売上高見通し	件数	今回	R3/8
前期より増加見込み	18	20.5%	12.2%
前期並み	37	42.0%	46.3%
前期より減少見込み	30	34.1%	39.0%
未回答	3	3.4%	2.4%
計	88	100.0%	100.0%

今期売上高「前期より増加見込」回答	件数	今回	R3/8
0～10%	8	44.4%	36.6%
11～20%	2	11.1%	0.0%
21～30%	0	0.0%	17.9%
31～40%	2	11.1%	0.0%
41～50%	1	5.6%	8.9%
51%以上	3	16.7%	36.6%
未回答	2	11.1%	0.0%
計	18	100.0%	100.0%

今期売上高「前期より減少見込み」回答	件数	今回	R3/8
0～10%	8	26.7%	16.7%
11～20%	9	30.0%	16.7%
21～30%	2	6.7%	16.7%
31～40%	2	6.7%	6.6%
41～50%	0	0.0%	10.1%
51%以上	3	10.0%	16.7%
未回答	6	20.0%	16.7%
計	30	100.0%	100.0%

最近の販売単価・受注単価は	件数	今回	R3/8
全般的に上がっている	29	33.0%	29.0%
一部販売単価・受注単価は上がっている	23	26.1%	23.0%
概ね前期並みである	31	35.2%	31.0%
一部販売単価・受注単価は下がっている	0	0.0%	0.0%
全般的に下がっている	2	2.3%	2.0%
未回答	3	3.4%	3.0%
計	88	100.0%	100.0%

昨年と比べて最近の仕入れ費用・仕入単価は	件数	今回	R3/8
全般的に上がっている	46	52.3%	34.1%
一部仕入れ製品は上がっている	24	27.3%	30.5%
概ね前期並みである	17	19.3%	31.7%
一部仕入れ製品は下がっている	0	0.0%	0.0%
全般的に下がっている	0	0.0%	2.4%
未回答	1	1.1%	1.2%
計	88	100.0%	100.0%

今期の粗利益率の見込み	件数	今回	R3/8
前期より増加見込み	11	12.5%	4.9%
前期並み	47	53.4%	53.6%
前期より減少見込み	29	33.0%	37.8%
未回答	1	1.1%	3.7%
計	88	100.0%	100.0%

今期の粗利益率の見込み「前期より増加見込み」回答	件数	今回	R3/8
0～10%	6	54.5%	60.7%
11～20%	1	9.1%	0.0%
21～30%	1	9.1%	19.7%
31～40%	0	0.0%	0.0%
41～50%	1	9.1%	19.7%
51%以上	2	18.2%	0.0%
未回答	0	0.0%	0.0%
計	11	100.0%	100.0%

今期の粗利益率の見込み「前期より減少見込み」回答	件数	今回	R3/8
0～10%	7	24.1%	27.6%
11～20%	6	20.7%	13.8%
21～30%	3	10.3%	10.4%
31～40%	1	3.4%	3.4%
41～50%	0	0.0%	6.8%
51%以上	2	6.9%	10.4%
未回答	10	34.5%	27.6%
計	29	100.0%	100.0%

今期の最終利益の見通しは	件数	今回	R3/8
前期より増加見込	10	11.4%	13.8%
前期並み	43	48.9%	19.5%
前期より減少見込み	33	37.5%	61.0%
未回答	2	2.3%	5.7%
計	88	100.0%	100.0%

今期の最終利益見通し「前期より増加見込み」回答	件数	今回	R3/8
0～10%	3	30.0%	33.3%
11～20%	2	20.0%	0.0%
21～30%	1	10.0%	16.7%
31～40%	0	0.0%	0.0%
41～50%	1	10.0%	0.0%
51%以上	2	20.0%	16.7%
未回答	1	10.0%	33.3%
計	10	100.0%	100.0%

今期の最終利益見通し「前期より減少見込み」回答	件数	今回	R3/8
0～10%	9	27.3%	22.5%
11～20%	7	21.2%	19.3%
21～30%	2	6.1%	9.8%
31～40%	1	3.0%	3.2%
41～50%	1	3.0%	6.3%
51%以上	2	6.1%	13.0%
未回答	11	33.3%	25.9%
計	33	100.0%	100.0%

現在の経営課題や問題点は (重要と思われる項目を5つ選んでください)	件数	今回	R3/8
売上高の低下	31	35.2%	43.9%
利益の低下	37	42.0%	41.5%
顧客数の減少	32	36.4%	32.9%
取引条件の悪化	9	10.2%	14.6%
販路開拓・取引先拡大など営業	7	8.0%	14.6%
顧客ニーズの変化	14	15.9%	19.5%
設備・店舗の老朽化	23	26.1%	26.8%
競合の激化	16	18.2%	20.7%
為替変動	0	0.0%	0.0%
仕入れ価格の高騰	47	53.4%	28.0%
人材の確保	24	27.3%	30.5%
人材の育成	16	18.2%	23.2%
人件費の増大	9	10.2%	13.4%
人件費・仕入費以外の増加	15	17.0%	8.5%
雇用の維持	9	10.2%	
資金繰り・資金調達	9	10.2%	9.8%
後継者問題	9	10.2%	7.3%
自社の強み把握	2	2.3%	2.4%
業務の効率化	10	11.4%	18.3%
既存製品・サービスの改善	1	1.1%	2.4%
新製品・サービスの開発	2	2.3%	9.8%
IT(インターネット・SNSなど)の活用	10	11.4%	7.3%
ブランドづくり	1	1.1%	3.7%
機器管理対策(新型コロナ・自然災害・減災対策など)	18	20.5%	19.5%
経営戦略作成	1	1.1%	2.4%
その他	4	4.5%	4.9%
未回答	3	3.4%	0.0%
計	88	100.0%	100.0%

今後の事業展開についてどのように考えていますか。	件数	今回	R3/8
現在の事業を中心に継続していく	60	68.2%	63.5%
現在の事業に関連した新たな分野へ進出・転換していきたい	6	6.8%	14.6%
現在の事業とはまったく異なる事業分野へ進出していきたい	3	3.4%	0.0%
縮小を予定している	8	9.1%	13.4%
わからない	9	10.2%	8.5%
未回答	2	2.3%	0.0%
計	88	100.0%	100.0%